

平成31年第1回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、2月27日(水)に順位1～5を、28日(木)に順位6～10を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	7番 尾形 英明	1 下水道事業の公営企業会計への移行について	上水道は以前から企業会計で経営管理していると思うが、下水道は工事も普及率もまだまだであると思うし、漁業集落排水処理事業は別の事業主体工事で整備した施設であると思う。企業会計に移行すると、今後の工事の補助金等に影響が出るのではないか。上下水道課の現在の状況を伺う。
		2 橋梁長寿命化修繕計画の補修工事について	補修工事場所は第1落合橋など6か所と言っているが、他の場所はどこなのか。また、どのような補修を行うのか伺う。
		3 歩道工事について	豊間根地区と荒川地区を結ぶ町道白山・船石線の歩道工事を実施することは大変良いことだが、圃場整備事業の創設換地部分だけでなく、歩道の設置目的を考えた整備を望むが、当局の考えを伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	13 番 吉川 淑子	1 リアス線の運行について	<p>間もなく待望のリアス線が開通することは喜ばしい限りである。関係各位のご尽力に改めて敬意を表す。人口減少等で利用者の増加は見込めない状況の中で、健全経営を目指すためにはマイレール意識の醸成が極めて重要である。ついては、次の点を伺う。</p> <p>(1) 関係機関が宮古～釜石管内で業務を行う場合は、極力リアス線を利用する働き掛けをしてはどうか。</p> <p>(2) 町民の交流・親睦を図るため、年1～2回「町民列車」を運行する考えはあるか。</p>
		2 山田町町営住宅管理センターについて	<p>町営住宅の管理は震災前の約4倍になり、町営住宅の管理運営は指定管理者、山田町町営住宅管理センターへ移行される。乳幼児から高齢者まで入居する現実を考えると、心配されることがないわけではない。入居者と役場と指定管理者の相互の意思疎通が図られるような体制づくりを考えているか。</p>
		3 民間交番やまだ地域安全センターについて	<p>町中心市街地に開所される同センターが地域安全の窓口として、子どもから高齢者までが気軽に相談できる場にしていただきたい。運営支援の具体的な内容を示せ。</p>
		4 学校給食センターについて	<p>学校給食センターは32年4月の供用開始に向けた準備を進めていくとある。当局の努力に対し敬意を表す。本センター運営の細部については、これから順次検討していくものと思う。また、センター周辺は山田中学校、山田病院、山田消防署、山田交番と緊急災害時に拠点となる施設が配置されている。ついては、次の点を伺う。</p> <p>(1) 本センターが緊急時において大量の炊き出しに対応できるような機能を合わせ持つような施設にできないか。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	13番 吉川 淑子	4 学校給食センターについて (つづき)	(2) 緊急時に1～2日間の最低限の食糧を確保するための保管倉庫の併設を検討できないか伺う。
		5 豊間根地区の排水路整備について	雨水排水対策として、31年度は堂ヶ鼻地区の工事に着手とあるが、堂ヶ鼻のどの辺まで工事をするのか整備計画を詳しく示せ。
3	10番 坂本 正	1 指定管理者について	(1) 海童丸について、指定管理を計画しているようだが、契約相手等、その内容について示せ。 (2) 鯨と海の科学館については、現在、観光協会に委託して事業を進めているが、そろそろ震災前の計画どおり観光協会に指定管理すべきと考えるが、今後の方針を示せ。
		2 NPO法人大雪りばぁねっとについて	事業費を業務上横領した罪に問われた法人代表理事岡田栄悟の裁判について、今後の見通しを示せ。
		3 鯨と海の科学館について	鯨と海の科学館が開館してから時間がたつが、その周辺活用の姿が見えてこない。鯨館周辺に東屋などを建設して一体的な観光の推進を図る考えはあるか。
		4 山田プライドについて	山田プライドについて、現在までの活動状況と今後の見通しについて示せ。
4	8番 関 清貴	1 三陸鉄道について	JR山田線が三陸鉄道に移管され、東日本大震災から8年目で鉄道が本町にもやっと復活する。町民の多くが期待していると思う。そこで次の点について伺う。 (1) マイレールの意識醸成は継続しなければならないと思うが、企画列車以外に町では具体的にどのような施策で町民とともにマイレール運動を進めるのか。 (2) 職員の出張に鉄道の利用を促すことを沿線市町村で話し合われたか。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	8番 関 清貴	1 三陸鉄道について (つづき)	<p>(3) 本町の観光イベント等と三鉄イベントとの連携が必要と思うが、町内の駅の特徴を活かしたイベントを考えているか。</p> <p>(4) 町内の小・中学校、幼稚園、保育園等の遠足等での利用を積極的に促すべきと考えるがいかがか。また、その場合に団体が容易に利用できるような補助制度を考えているか。</p>
		2 旧県立山田病院の跡地利用について	<p>跡地利用が期待されている旧県立山田病院について伺う。</p> <p>(1) 7分団屯所予定地として考えられないか。八幡町はもちろん、中央町も近く、長崎・飯岡地区にも面していることから住民も安心かと思うがいかがか。また、震災後に被災を受けた各屯所は災害復旧で整備されたが、なぜ7分団だけが整備されなかったのか。</p> <p>(2) 東日本大震災の記憶を後世に伝え、町民が減災を考える伝承施設の整備予定地として考えられないか。</p> <p>(3) 山田地区の被災した郷土芸能の保管施設は復旧できないと思われたが、様々な支援により見事に復旧し、住民に笑顔と明るさを取り戻してくれた。郷土芸能団体は依然として保管施設に苦慮している。ここを予定地として考えられないか。</p>
		3 水産業について	<p>本町の基幹産業として位置付けられている水産業であるが、震災で販路が減少した殻付きカキのブランド再生は物心両面で漁協と連携するのか。それとも各種機器導入に対する助成だけの施策なのか。カキ・ホタテ等の生産量が伸びないことには町の活性化も難しいと思うがいかがか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	8番 関 清貴	4 防犯灯について	夜間の安全な通行確保のため防犯灯を設置する考えのようだが「暗くて不安だ」、「小中高生の下校時に心配だ」などの住民の声を聴いて設置場所を考えているのか伺う。
		5 観光について	復興後の本町の活性化のためにも観光振興に力を注ぐべきと考える。行政、民間事業者、地域住民が連携・協働し、観光資源の創出に取り組むということであるが、船越公園周辺に地域住民と協働して桜を植樹し、指定管理制度を活用した管理運営を図る考えはないか。
		6 教育環境について	<p>小中学校の再編も前進し、児童生徒が希望を持って学校生活を送れる環境づくりが必要と考え、次のことを伺う。</p> <p>(1) 山田南小学校の体育館への進入路が狭く、車を方向変換するにも難しい状況だが、改良する予定はないか。また、旧さくら幼稚園を今のまま残しておくのか。</p> <p>(2) 学校を再編することにより維持経費等が合理的に運営されると思うが、学校図書に予算をまわして心豊かな教育に力を注いではどうか。</p> <p>(3) 再編による「いじめ」、「不登校」がないような教育環境を望むところであるが、その対応を考えているか。</p> <p>(4) 山田高校への進路希望が今年も現時点で定員を大幅に下回っているようである。町でも高校存続の対策を町民一丸となって考える時期ではないかと思うがいかがか。</p>
5	1番 阿部 幸一	1 小中学校のいじめについて	小中学校の子どもへのいじめはないか。いじめがあった場合の対応について説明せよ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	1 番 阿部 幸一	2 児童虐待について	千葉県野田市の市立小4年栗原心愛さんが死亡した事件で、市教育委員会は児童相談所に相談せず、心愛さんがSOSを発したアンケートのコピーを父親の勇一郎容疑者に渡していた。威圧的な態度に恐怖を感じ、追い込まれるあまり、子どもを守るといふ使命とはかけ離れた判断に教育現場で問題を抱え込むことの危うさがあらわになった。精神的に追い詰められた残念な出来事である。町の教育委員会の見解はどうか。また、夫婦間でトラブルのある家庭で子どもが迷惑している事例があるか。ある程度調べることも必要と思うが、どう思うか。
		3 災害公営住宅について	山田町の災害公営住宅に何%くらい入居しているか。また、2018年度の公営住宅の管理費はどのくらいか。
		4 特産品開発について	岩手経済研究所は、県内味噌、醤油製造業の成長に関する特別調査を行った。全国でも大豆関連商品の購入額が多い本県だが、県内業者の出荷は多いほうではない。需要がある地元市場はさらに開拓の余地があり、和食ブームで海外の引き合いも強いと分析。食の多様化や健康志向に合わせた商品展開で一層の成長が期待できると指摘している。水産商工課、農林課などで民間の業者の方々と交流をして、山田町の特産品開発などの研究をさせてはどうか。
		5 町の財政等について	町税の見通しは。交付税の見通しは。
		6 海洋センター体育館について	海洋センター体育館については、雨漏り補修の方向性について協議することにしてはいたが、結論について詳しく示せ。
		7 集会所の舗装について	田の浜コミセンと船越防災センターについて検討すると回答をいただいているが、その後の経過について詳しく示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	1 番 阿部 幸一	8 少子高齢化 対策について	東日本大震災の被災市町村長アンケートでは、復興庁がなくなる 2021 年度以降も人口減少対策が必要だと多くの首長が回答した。2020 年度末で終わる復興・創生期間後も必要な事業について複数回答で聞くと、人口減少対策が 29 人で最多。少子化や超高齢化が進むが、対策をどのように考えるか。
6	3 番 佐藤 克典	1 交通網の整備 について	<p>(1) 三陸沿岸道路山田北インターについては、宮古方面にもアクセスできる「フルインター化」の実現について引き続き要望していくとのことである。このことについて、昨年年第 1 回定例会では宮古市復興道路推進室と連携を図りながら、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などとともに実現に向け強く要望していくとのことであったが、この一年間、どのような要望活動を行ってきたのか。また、三陸国道事務所の感触はどうであったか併せて伺う。</p> <p>(2) 町道織笠・外山線の礼堂地区の道路幅拡幅・改良はかねてより地域に住む方々にとって切なる願いであった。31 年度に拡幅・改良のための調査・設計を進めるとのことだが、拡幅・改良工事については 32 年度に実施をするのか伺う。</p> <p>(3) 31 年度から私道等整備補助金の補助率を 10 分の 5 から 10 分の 7 に引き上げ地域の要望に応じていくとのこと。補助率の引き上げについては、私や同僚議員が再三、質問してきたところであり、その実現に喜ばしく感じるとともに英断された町当局に感謝申し上げたい。確認のため伺うが、補助額の上限は設けるのか。また、31 年度当初予算には 300 万円計上されているが、仮に実施希望者が予算額を上回った場合、補正対応はあり得るのか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	3番 佐藤 克典	2 新たな観光拠点施設について	新たな観光拠点については、検討委員会を今年3月に立ち上げ、整備の具体方針となる基本構想・基本計画を策定し、前県立山田病院跡地を整備し、新施設建設に向けた取り組みを本格化することのことである。新施設はそれ相応の建築面積、建設費用が見込まれる。町単独事業、一般財源のみの対応だと本町の財政状況から見ても厳しいものと思われ、何らかの助成事業が必要と思われるが、どのような補助メニューの導入を想定しているのか伺う。
		3 移住定住支援について	移住定住支援については、既存の施設を「移住お試し住宅」として活用することについて検討を進めるとのことだが、この既存の施設は何を考えているのか伺う。また、都市住民を誘致し、その定住・定着を図り、地域力の維持・強化に資するため「地域おこし協力隊」の採用を進めるとあるが、採用人員、職務内容の具体について伺う。
		4 閉校後の学校施設の活用計画について	小中学校の再編については、豊間根中学校を閉校し、山田中学校に編入、大沢、山田北、山田南、織笠、轟木、大浦の各小学校を閉校し、新たな小学校として統合。荒川小学校については豊間根小学校に編入するという方針が示されたが、閉校後の校舎、体育館（屋内運動場）の活用計画について伺う。また、合意が得られた地区には準備委員会を設置し、来年4月の新学校開校に向け準備を進めるとのことだが、準備委員会のメンバーはどのような人たちを想定しているのか。また、この準備委員会が閉校に係る式典事業等に携わるのか併せて伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	5番 田老 賢也	1 今後の観光振興について	水産商工課の観光担当職員が増員され、体制が強化されたことは喜ばしい。そこで今後の観光施策について改めて伺う。観光復興ビジョンの進捗はどのような状況か。
		2 駅前駐車場について	駅前の駐車場は、現在は無料で誰でも使えるようになっている。利便性は高いが、それゆえに夜間を通して駐車している状況が散見される。さらに3月には三陸鉄道の開通が控えており、開通後は混雑に拍車がかかることが予想される。町としてどのように対応するのか。
		3 学校統合までの事前準備について	先日、学校再編の形態が発表された。教育環境や今後の財政面を考慮すると、この再編には賛成である。一方で、再編に伴う様々な変化に対して、保護者が不安を感じているのも事実である。不安をカバーするには統合までの準備が必要となるが、準備委員会はどのようなメンバー・手順で進めていくのか。
		4 移住コーディネーター業務について	昨年度より移住コーディネーターを任用して取り組んでいるが、目標や具体的な動きはどのようなになっているか。
8	6番 木村 洋子	1 学校の統合について	豊小と船小での住民説明会では、町の統合案に対して保護者や地域住民から反発があり、合意が得られなかった。今後は、3つの小学校で運営していくことになるが、町では、今でも全部の小学校をひとつにするため統合をさらに進めようという姿勢が伺えるが、その案は住民感情を逆なでするようなものだからやめるべきだ。町はいかにして児童が安心し、充実した環境で学校生活を送れるかにエネルギーを注いでいくべきではないか。学校のエアコン設置に関しても、南小に先行し設置ということだが、学校間に差をつけた対応なのではと、取られないよう極力配慮していくべきと考えるが、町の見解を伺う。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	6番 木村 洋子	2 学校給食について	<p>来年4月より、待ちに待った学校給食が始まる予定である。近年は全国的に食の安全に対する意識が向上しており、学校給食に対しても保護者からは安全安心なものを食べさせたいという願いが強いと感じる。地産地消を推し進めながら主食である米は安全安心な低農薬のものを食べさせたい。宮古市においては、食育基本条例を設置し、学校給食には低農薬の米を利用している。当町の場合はどのようなになるのか。震災により8年も延期された学校給食である。児童や保護者から歓迎してもらえよう体に優しく安全安心な食品を提供してほしい。</p>
		3 避難所について	<p>避難所の運営について、3.11の教訓をいかし改善してきた点は何か。高齢者や障がい者への配慮として、トイレの洋式化は重要であるが、普及率はどれくらいになったか。今後の計画はどうなっているのか。備品として段ボールベッドやついたても必要と感じるが、購入の計画はあるか。</p>
		4 災害公営住宅の集会所について	<p>災害公営住宅には、コミュニティの維持や孤立防止のため集会所がぜひとも必要と考えるが状況はどうなっているか。長林の災害公営住宅は住民の高齢化率が非常に高く、ひとり暮らしの高齢者も多いのだが、集会所が設置されていない。住民からの強い要望である天候が悪くても利用しやすい集会所を敷地内に設置すべきではないか。</p>
		5 国保税均等割の減免について	<p>子育て世帯への経済的支援として、宮古市では国保税の子ども均等割免除に踏み切った。均等割は子どもが多いほど負担が大きく、生まれたばかりの赤ちゃんにもかかる税金であり、子育て世帯を応援しているとは言えない。当町も子どもの均等割の免除に踏み切るべきではないか。町長の決断を仰ぐ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	4番 黒沢 一成	1 りばあねつと問題の総括について	<p>りばあねつとに関する岡田氏の裁判の決着はついたか。緊急雇用事業で認められず、町からの持ち出しとなった費用と裁判費用の合計はいくらになったか。町民の多くは話題にしなくなっているように思うが、一部の人はいまだにどうなったか関心を持っている。震災後の混乱した時期に起こったことであり、また、役場組織の中での仕事であり、議会でも議論された結果であるが、結局、責任の所在はあやふやなままであったと思う。今更、聞きたいとは思わないし、誰かに責任を押し付ければ良いものではないが、一般的に組織の仕事の中での責任は曖昧にする傾向があると感じる。人事評価には反映されるのかもしれないし、小さなミスなら注意で良いと思うが、緊張感を持って仕事をしてほしいのは町民が望んでいることと思う。改めて、再発防止のための見解を問う。先日、震災の慰霊碑の建立についての説明の中で、震災の記録の表記にりばあねつと問題の事を入れるべきではとの質問が出たときは、入れないとの答えだった。肝に銘じて忘れないようにするためには、あえて目に見えるところに残す必要があると考えるがどうか。</p>
		2 いじめに関して	<p>町外のことであるが、いじめや虐待による痛ましい報道が後を絶たないように感じる。実際の状況がどうであるのかは、当事者でなければわからないと思うが、周りの人がいじめに気がついたら適切な対応が求められるものである。町内小中学校での最近の状況はどうなっているか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	4 番 黒沢 一成	3 公共交通について	先日、公共交通に関する懇談会が行われた。集まったのは主に高齢者で、現状の把握と希望・要望を聞いていた。これから三陸鉄道が開通し、県北バスへの復興関連補助が打ち切られていくなど状況が変わっていく。町で検討している環状バスとその支線の運行はいつまでにまとめる予定か。運行は実情に応じて変えていけるものと思うが、乗り合いバス路線のように手続きが必要なのか。見込める国県の補助はあるのか。また、震災後、県北バスの停留所名が現状に合わないところがあるが、合わせる予定は。また、路線によって、バスが止まったり止まらなかったりするが、利用者がいたら止まるようにできないか。今後も大浦、田の浜方面への県北バスの運行継続を希望する場合、本数を減らして一運行当たりの乗車人数が増えた場合、町負担は減るのか。
		4 地域おこし協力隊について	地域おこし協力隊員推進事業では、どのような隊員を募集して、どのような効果を期待するのか。
10	11 番 菊地 光明	1 歩道整備について	大沢地区の国道 45 号の歩道整備について、議会において質問して以来 3 年、ようやく工事が始まったことは喜ばしいことである。そこで何う。工事の最終地点はどこを考えているのか。また、工事の完了年度はいつか。それに伴う社会資本整備の変更計画は考えているのか詳しく示せ。
		2 町道認定について	町道認定の各種条件について詳しく述べよ。その上で何う。町道舘ヶ入線と大畑線周辺の住宅密集地の集落道について何をどのように整備すると町道認定が可能になるのか詳しく示せ。併せて、その周辺の西川の整備計画についても詳しく示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	11 番 菊地 光明	3 山田北インターについて	山田北インターについては、昨年の3月議会において、生命の道として、フル化に向けて共通認識を確認したところであるが、その後の活動が見えてこないの何う。フル化に向けて1年間国に対しどのような要望活動をして、どのような回答を得ているのか詳しく示せ。それを受けて今後の活動計画はどうなっているのか具体的に示せ。また、生命の道と同様に豊間根地区における生産工場の道としても認識を共通理解したと考えている。その工業団地指定についても12月議会において指定地区の図面を要求したが、依然として回答がないが、いつまで待てば良いのか詳しく示せ。
		4 町道整備について	(1) 復興工事については、県事業と関係する箇所については、岩手県と協議しながら進めているものと思う。そこで何う。山の内地区の船揚げ場工事が完成後数年たつが、背後地である町道のかさ上げ工事が進まない現状であるが、何が問題なのか詳しく示せ。それを受けて今後の整備計画はどうなっているのか具体的に示せ。 (2) 町道については日常的に道路パトロールを実施して現状確認をしていることと信じているが、今年の冬の寒さによる凍上被害はあるのか。あるとすれば、今後の補修計画について具体的に示せ。
		5 県道について	(1) 主要地方道重茂半島線の大沢・浜川目工区の一部供用開始について、トンネルから大沢小学校までが31年度開通見込みとあるが、この区間の全線開通予定はいつか。また、これまで工期が遅れた原因が何か。 (2) 今後の整備方針の方向性と事業の進捗計画について詳しく示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	11 番 菊地 光明	6 移住定住支援について	移住お試し住宅に関連して伺う。現在、町職員は何名在職しているのか。そのうち住居が町内何名で町外何名か。また、町外に居住している職員の町内定住化の推進をどのように考えているのか詳しく示せ。
		7 水産業の振興について	(1) 漁協と連携しながら殻付きカキのブランド再生に取り組んでいくとあるが、具体的な計画と内容について詳しく示せ。 (2) アワビ及びナマコ放流事業に対し全額補助で継続していくことは大賛成である。そのアワビ、ナマコの放流効果の検証を進めるとあるが、前年度までの放流効果の分析結果はどうであったのか詳しく示せ。また、それを受けて今後どのような指導をしていくのか具体的に示せ。
		8 観光の振興について	(1) 「1年を通して集客力のあるイベントを開催」とあるが、前年度のイベントを総括して町にとって、どのイベントが集客力のあるものなのか詳しく示せ。また、その分析検証がなされていると思うが、内容について詳しく示せ。 (2) 検証結果を受けて今後どのようなイベント開催を指導していくのか具体的に示せ。
		9 学校教育について	(1) 32年4月の新学校開校については、現在の山田南小の改修にて対応する方針と聞いているが、南小の利用は暫定的なものであり、新たな統合小学校を建設する場合、建設場所について適地をどのように考えているのか。 (2) 平地が少ない現状の中で、造成費等の大規模な事業費は避けられない。町の財政規模を考慮して事業費をどのように見積もっているのか。また、財源はどのように考えているのか具体的に示せ。